

「婦人科疾患に対する妊孕性温存療法後の 生殖医療に関する臨床的研究」に対するご協力のお願い

研究責任者 内田 志穂
研究機関名 慶應義塾大学医学部
(所属) 産婦人科学教室

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「7 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2012 年 1 月以後、慶應義塾大学病院リプロダクションセンターを受診し、生殖医療を施行された方が対象となります。婦人科疾患に対して妊孕性温存療法を行い妊娠許可が得られた方、および、婦人科疾患のない方も比較対象として含まれます。

2 研究課題名

承認番号 20251122

研究課題名 婦人科疾患に対する妊孕性温存療法後の生殖医療に関する臨床的研究

3 本研究の目的、方法

婦人科疾患に対する妊孕性温存療法（Fertility-Sparing Treatment: FST）は、良性・悪性を問わず、生殖機能を維持するための重要な選択肢となっています。しかし、FST 後に生殖医療を受けた患者さんの妊孕性（妊娠する力）や、生殖医療が原疾患にどのような影響を及ぼすのかは、十分に明らかになっていないのが現状です。そこで本研究では、婦人科疾患に対して FST を受けたのちに当院リプロダクションセンターを受診した患者さんを対象に、生殖医療の安全性や有効性、原疾患の再発・増悪との関連を検討し、今後の診療の質向上に役立つ知見を得ることを目的としています。

4 協力をお願いする内容

研究において利用させていただく臨床情報や検査結果は既に診断治療のために施行されたものを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の

中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。診療記録や検査記録からデータベースを作成し、それを用いて統計学的に解析、検討を行う予定です。

5 本研究の実施期間

研究許可日（倫理審査結果通知書発行日）～2028 年 12 月 31 日

6 外部への試料・情報の提供

該当致しません

7 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、情報提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先

慶應義塾大学医学部産科医局

施設・機関責任者 田中 守

研究・実務責任者 内田 志穂

連絡先: 03-5363-3819 (FAX 03-3353-0249)

以上